

烏山地区
ミニコミ紙
第110号
令和4年5月17日



バックナンバーは区のホームページ
でご覧いただけます。
こちらのQRコードからどうぞ！

発行/烏山地区ミニコミ紙編集委員会
事務局/烏山まちづくりセンター TEL3300-5420

ふれあい

防災について、もう一度考えましょう。

東日本大震災から11年、防災に対する意識や備えは、進んできました。しかし、時間が経つにつれてその備えの更新や、避難などの手順の確認などを怠るようになってきてしまいます。地域の小学校や中学校は、児童、生徒を対象とした避難訓練、防災教育を定期的に行っていますが、地域全体としてはどうでしょうか？

被災状況によって家に継続して居住することができない状況、大規模火災などが起きた時など、どこに避難すればいいのかをご存知でしょうか？

また、避難所はいつ開設されるのか？開設や運営は誰がするのかなど改めて確認しておく必要があります。大震災のように災害が広範囲にわたって発生したり、道路などが寸断されて人員の配置などができないなどのケースも想定されます。

基本的には災害に対しては「自助」「共助」「公助」という考え方があります。まず、「自分の身は自分で守る。」自助。「ご近所や町内会、自治会などで助け合う。」共助。そして自治体などが行う公助です。自分の身は自分で守るというのは当然なのではありますが、高齢者や体の不自由な方、介護が必要な方、子供などはそれが難しいです。そのときは周りの人たちが助け合うわけです。

ここで大事なものは、ご近所にそういった方がいるかどうかを普段から知っておくことです。個人情報保護の観点から考えると難しい部分は確かにありますが、プライバシーに配慮しすぎて、避難することが容易ではない方々の存在がわからず、場合によっては放置されたりして命の危険にさらされることも考えられます。近所にどういった状況の方がお住まいなのか、そして災害時に自分の安全を確認した上で、そういった方々の安否が確認できるのか。自分だけの話ではなく、逆の立場にもなり得るということも考えて、できれば知っておくようにいたしましょう。

自分や家族、さらには近所の状況を把握することの他に、もう一つとても大事なことがあります。それは災害に対する知識を身につけることです。例えば、烏山地区ですと、昔川が流れていたところは基本的に低い場所ですので、水が溜まりやすく、家屋の浸水の可能性があります。烏山地区の川は何本かありますが、そのほとんどが実は暗渠（あんきょ）（下水管を地中に埋めて上部を遊歩道のように整備したもの）になっています。

世田谷区のホームページやまちづくりセンター、総合支所などでは、水害に対する危険度マップ（ハザードマップ）の公開をしていますので、一度確認をしてみましょう。

天災だけでなく、火災時の煙の広がり方、初期消火の重要性やその限界、備蓄品の知恵など、知っているのとそうでない場合では大きな違いが後々出てきます。

そこで、今年も烏山地区の防災訓練が令和4年6月26日（日）に烏山北小学校で午前10時から開催されます。（雨天中止）

町会、自治会単位での参集訓練、火気点検、避難訓練、起震車による地震体験、その他、救命器具の操作方法の実演や説明、水消火器を使った初期消火訓練、連絡が取りにくくなった時に役に立つ災害伝言ダイヤルの体験、119番通報の体験、実際に部屋の中に煙を充満させた中を避難する煙中避難体験、地震で安全装置が作動した時のガスの復帰方法の説明、また、防災用品の展示や購入申し込みなどもできます。さまざまな体験や知識を得ることができる貴重な機会です。

詳しくはお住まいの町会、自治会、または烏山総合支所地域振興課防災担当にお尋ねください。

（新型コロナウイルスの感染状況が悪化した場合や雨天時は中止となりますのでご確認をお願いいたします）

古着・古布の行方を知ろう！

集まった古着古布はどうなっていくのかを追跡してきました。

烏山地区では、年に2度（例年6月と11月）、ごみ減量・リサイクル推進委員会(以下「委員会」)で古着や古布を回収しております。

毎回大変多くの量が持ち込まれます。ご協力、ありがとうございます。集められたものがどのように流れているのかを「からびょん」と一緒に茨城県の倉庫まで行って取材してまいりました。

まず、各家庭などから集められた古着・古布は、回収協力業者である株式会社原宿シカゴによって集められます。これは一キロあたりいくらという形で売却されます。委員会ではこの売却益を、古着・古布を出していただいた時に返礼でお渡ししているゴミ袋の購入や、ごみ減量リサイクル活動の広報、啓蒙啓発活動などの費用に充てられます。

集められたものはトラックで茨城県稲敷市にある原宿シカゴの本社倉庫に集積されます。ここには、他の地区からも同様に集められた古着や古布が運ばれてきています。



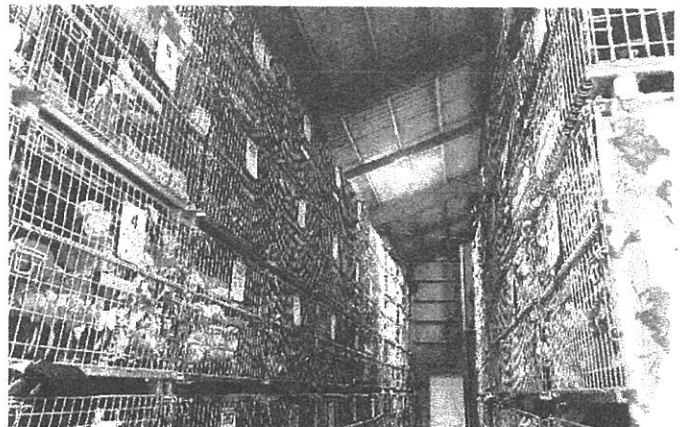
ここでは、選別作業は行わず、圧縮機で大きな塊を作り、そのままそれを海上コンテナに積み込んでマレーシアに送ります。マレーシアでは、その荷を解いて、分別作業が行われます。服の種類や色味、状態などで細かく分別され、その後、クリーニングされます。

クリーニングされたものは現地、例えば、マレーシア、バングラディッシュ、カンボジア、インド、パキスタンなど主にアジアの古着マーケットに流通していきます。

なぜ、東南アジアなどが中心になるかというと、それは体型がさほど変わらないためということです。アメリカやアフリカに比べると日本人の体型は小型なので、売れるものが少ないからだそうです。また、古布や、古着マーケットに出せないものなどは布の種類にもよりますが、綿などは、工場などで機械の油拭きとして再利用されるように裁断してウエス（工業用雑巾）として使われたり、ウールや化繊は細かく碎いて綿常にし、さらにそれを固めて、自動車のドアの内張などの防音素材や、マンションなどの床の下に敷く防音材として蘇ります。また、古着が入っていたビニール袋やビニール紐、その他の素材は、やはり細かくした後、機械で練り上げて固めます。これは、ボイラーなどで使う燃焼効率の高い燃料になります。

原宿シカゴの資料によると集められたもののおよそ60%が海外へ輸出。12・5%がウエス、6%弱が反毛材、3%弱が紙類などに、固形燃料がおおよそ1%、リサイクルされています。このように、捨ててしまえば、清掃工場などで焼却され、二酸化炭素と熱を排出して終わるものが、少ないエネルギーで再利用されたり、新しい素材に生まれ変わっています。

持続可能な社会を作っていくということが昨今言われていますが、烏山地域としても、このような活動で地球規模の環境問題に取り組んでいますので、今後も、皆様のご協力をお願いいたします。次回古着・古布回収活動は、令和4年6月10日(金)を予定しております。詳しくは、回覧板をご覧ください。か、烏山まちづくりセンター（烏山区民センター一階）にお問い合わせください。



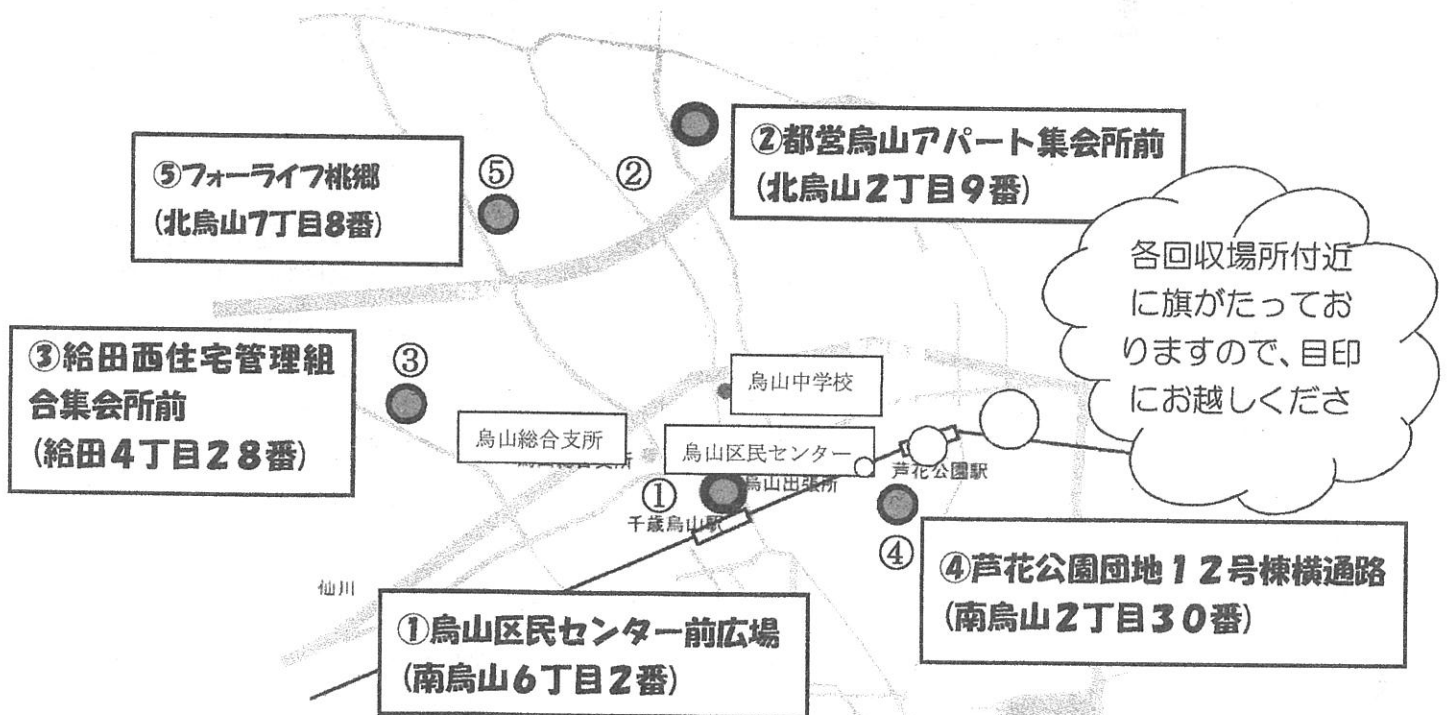
古着・古布回収

令和4年6月10日（金）

午前9時～11時※荒天中止

回収場所は5か所

- ①烏山区民センター前広場
- ②都営烏山アパート集会所前（車での搬入可能）
- ③給田西住宅管理組合集会所前（車での搬入可能）
- ④芦花公園団地12号棟横通路
- ⑤フォーライフ桃郷（車での搬入可能）



問合せ: せたがやコール 03-5432-3333 (午前8時～午後9時)

主催: 烏山地区ごみ減量・リサイクル推進委員会

烏山地区で新しくお世話になる方のご紹介

～校長先生～

武蔵丘小学校 今宮校長



4月より、武蔵丘小学校の校長として着任いたしました 今宮 直樹（いまみや なおき）と申します。「創立50周年記念」の大切な年に着任できたことに、大きな喜びと責任を感じております。学校・保護者・地域が三位一体として心を合わせて連携し、協力して学校運営を進めてまいりたいと存じます。

学校の教育目標は「元気」「本気」「根気」の「三気」です。「チームむさし」を合言葉に、教職員が一体となり、子どもたちへ未来に希望と自信をもたせる充実した教育活動を進めてまいります。ご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

烏山中学校 大友校長



4月に校長として着任しました、大友 文敬（おおとも ふみたか）と申します。前任は渋谷区です。世田谷区は講師や非常勤職員、教員として勤めていたことがあり、再び戻ってくることとなりうれしく思います。

烏山中学校は、感動と活力ある行事への取り組み、ボランティア活動への積極的な参加、部活動の活性化、烏山学舎の連携した取り組み等、特色ある教育活動を進めています。教育目標「思いやる・よく考える・力強く生きる」を基に、これまでの取り組みを生かし、生徒の活力ある活動を進めていきます。明るく素直な烏中の生徒は、学習に部活動に、そして行事に熱く燃える素敵な生徒です。今年度もご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

～副校長先生～

烏山小学校 谷山副校長



私は、この4月に烏山小学校の副校長として着任しました谷山 智毅（たにやま ともたか）と申します。三鷹市井口小学校から昇任、初めての副校長でございます。150周年を来年度に迎える歴史と伝統のある烏山小学校に着任できたことを大変嬉しく思っております。これまで学校・保護者・地域が築いてきた烏山小学校の素晴らしい土台を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長のために力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

芦花中学校 築瀬副校長



4月より芦花中学校に着任いたしました、副校長の築瀬 学（やなせ まなぶ）と申します。これまでは区内の八幡中学校にて勤務しておりました。

学校の窓口として、保護者の皆さま、地域の方々と連携を図りながら、芦花中学校の生徒たちが、明るく元気にそして気持ちよく向上できる学校生活を送れるよう、尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。